

A 正誤表

Rotary Speaker Type 設定について

対象マニュアルバージョン: v1.01 まで

Revision B 以降のユニットではハードウェアの仕様が変更され、当該の設定を **[SHIFT] + ROTARY SPEAKER [ORGAN]** で行うようになりました。
Rev B ユニットでは、Sound メニューを開いても「7 — Rotary Speaker Type」は表示されません。

6 ページ、57 ページ

(誤) 7 — Rotary Speaker Type

(正) (説明含め削除)

(誤) 8 — Rotary Rotor Speed

(正) 7 — Rotary Rotor Speed

(誤) 9 — Rotary Rotor Acc.

(正) 8 — Rotary Rotor Acc.

(誤) 10 — Rotary Horn Speed

(正) 9 — Rotary Horn Speed

(誤) 11 — Rotary Horn Acc.

(正) 10 — Rotary Horn Acc.

B 更新履歴

v1.14

リリース日: 2023年9月15日

機能追加、機能改善、および仕様変更

- ・ MIDIメニューのOrgan Channel、Piano Channel、およびSynth Channel ページに「Sect」設定を追加しました。これをオンにすると、レイヤー A に割り当てた MIDI チャンネルは「セクション MIDI チャンネル」としてふるまい、これを通じて他のすべてのレイヤーを制御することができるようになります。
- ・ NRPN メッセージを送受信するかどうかを「Off」、「Send」、「Receive」、「Send+Receive」から選択する「NRPN Mode」設定を廃止し、代わりに「Control Change Type」設定を追加しました。新しい選択肢は「CC Only」と「CC+NRPN」です。これは、以前に可能であった組み合わせのほとんどが使い道のないものだったためです。
- ・ バンクセレクトメッセージを伴わないプログラムチェンジメッセージをセクション MIDI チャンネルから受信したときでも、プリセットが変更されるようにしました。シンセセクションではバンクセレクト LSB のみを伴ったプログラムチェンジメッセージによってプリセットバンクを切り替えることができます。
- ・ プログラムフォーマットを v3.08 に更新しました。
- ・ シンセプリセットフォーマットを v2.06 に更新しました。

不具合修正

- ・ シンセセクションでサンプルモードとアナログモードを組み合わせている場合に、打鍵しても発音しないことがある問題を修正しました。
- ・ 使用するプログラムによっては、プログラムを切り替えたときにロータリースピーカーの出力レベルが変動してしまうことがある問題を修正しました。
- ・ スウェル / コントロールペダルが正しいタイプに設定されていない場合に、値が実際の踏み込み以上に大きく変動してしまう問題を修正しました。
- ・ レイヤーシーンを切り替えるときに、モーフ、スウェルペダル、ピブラートペダル、およびピッチベンドが正しく動作しなくなる問題を修正しました。
- ・ Extern レイヤーのバンクセレクトパラメーターは、0 ~ 126 の範囲を持っていました。MIDI 本来の規定である 0 ~ 127 へ修正しました。
- ・ エンベロープ設定を **[SHIFT] + [MON/COPY]** で貼り付けたときに、ソフト機能である **FILTER [VELOCITY]** や **AMP [VELOCITY]** まで操作してしまう問題を修正しました。
- ・ プログラムを **[SHIFT] + [MON/COPY]** で貼り付けようとしても機能せず、メニューが開いてしまう問題を修正しました。
- ・ パラメーターのモニター機能を使用した後、イコライザーやグライド等、特定のヒント表示が消えずに残ってしまう問題を修正しました。

- ・ 軽微な不具合を修正しました。

v1.12

リリース日: 2023年7月7日

不具合修正

- ・ 単一のサンプル / ゾーンからなるカスタムサンプルをロードするとフリーズしてしまう問題を修正しました。Stuart 氏の報告に感謝します。

v1.10

リリース日: 2023年7月6日

機能追加、機能改善、および仕様変更

- ・ アンドゥ機能を追加しました。これらの操作は、**[SHIFT] + [SOLO]** を押すことで元に戻せるようになりました:
 - ・ エフェクトのグループ機能。
 - ・ All FX Off 機能。
 - ・ ペースト操作。
 - ・ プリセットの読み込み。
 - ・ モーフ設定の消去。
 - ・ 編集中のプログラムからのプログラムチェンジ。
 - ・ Synth Init および Layer Init 操作。
 - ・ シンセセクションにおける、LFO、フィルター、アルベジエーターのグループ機能。
- ・ リドゥ機能を追加しました。アンドゥ操作の後に **[SHIFT] + [SOLO]** を押すと、**Redo** ソフトボタンが表示されます。
- ・ プリセットライブラリーからプリセットをロードするときに、対応するプログラムチェンジメッセージが送信されるようにしました。ここで一緒に送信されるバンクセレクト MSB の値は、シンセプリセットで 2、ピアノプリセットで 3、オルガンプリセットで 4 です。
- ・ Layer Init 操作のとき、初期化対象のレイヤーがソフトボタンのラベルに併記されるようにしました。
- ・ Pedal メニュー → Sustain Pedal ページの「Func」設定に、新たな選択肢として「Sus+ Rotor Tog.」を追加しました。
- ・ Aux KB が割り当てられたレイヤーもピッチベンドを受信するようになりました。本体のサステインペダル (**SUSTPED**) とピッチスティック (**PTICK**) は、対応するパネル LED のオン / オフ状態に応じてレイヤーに作用します。
- ・ ユニゾンとラウンドロピンが組み合わされたときのサンプルの処理を改善しました。
- ・ 「NRPN Mode」設定が「Off」の場合、NRPN で制御されるすべ

でのパラメーターがローカルで動作するようにしました。

- ・ ペースト操作を行ったときに「E」が表示されるようにしました。
- ・ Store As テキスト入力の **Del** ソフトボタンと **Ins** ソフトボタンを、長押しによるリピート入力に対応させました。

不具合修正

- ・ 起動したときや Pedal メニューで選択したときに、接続された Nord TP-1 が、ダンパーがオンの状態で初期化されてしまうことがある問題を修正しました。
- ・ Nord TP-1 を使用しているときに、中央のペダルに割り当てた機能が左側のペダルでトリガーされてしまうことがある問題を修正しました。
- ・ レイヤーシーンを切り替えたときに、ソロモードでエフェクトフォーカスが同期しなくなることがある問題を修正しました。
- ・ ライブモードに入ったり、ライブモードから戻ったりするときに、編集されていないプログラムに「E」が表示されてしまうことがある問題を修正しました。
- ・ スタアビューで Num Pad による入力が視覚化されない問題を修正しました。
- ・ ロータリースピーカーがモノラル出力にルーティングされている場合、プログラムを切り替えるときに意図しない動作を起こすことがある問題を修正しました。
- ・ 起動直後に **[SHIFT] + [PRESET]** でドローバー設定を同期した場合、想定と異なるドローバー設定が適用されることがある問題を修正しました。
- ・ Sound メニューの Volume Level Offset 機能が、レイヤーボリュームへのモーフを正しく処理できないことがある問題を修正しました。